

2026.03

ヘルメット取付資料

B+COM
7X EVO

×

Arai
VZ-RAM



取付前の準備

1. 取付準備

SHOEI ヘルメット「TX-STRADA」の B+COM 取付方法をご紹介します。



2. B+COM の準備

B+COM1 キット分を用意します。



3. イヤーカップ取外し

ヘルメットの左側イヤーカップを取外します。

※内装の脱着に関しては、ヘルメットの取扱説明書をご参照ください。



スピーカーの取付

4. 面ファスナーの貼付け

左右のイヤーカップベース側へ「スピーカー固定用面ファスナー」を貼付けます。

取り付けられていない場合は左右のイヤーカップベース側へ、ヘルメット付属部品の「VZ スピーカーベース 2」を取付けます。
※詳しくはヘルメットの取扱説明書をご参照ください。



5. 調整パッドの活用

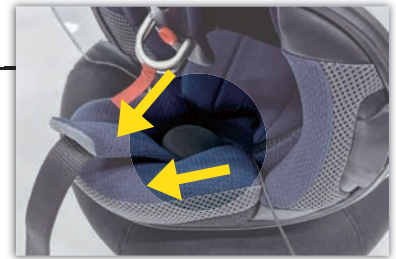
耳とスピーカーの隙間を調整することで、本来の音量、音質が得られます。

※調整パッドをご使用してください。
耳が押されて痛い場合は外してください。



6. 右側スピーカー取付け

スピーカーを取付けます。イヤースペースにそのまま合わせるのではなく、**できる限りヘルメット前方、チンストラップの根元側へ寄せるのがコツです。**



7. スピーカー配線 1

ヘルメット後方右側のホックを外し、配線をホックの内側に通します。



8. スピーカー配線 2

ヘルメット後方左側のホックを外し、配線をホックの内側に通します。



9. 左側スピーカー取付け

スピーカーの左耳側を取付けます。



ハイブリッドアームマイクの取付け

10. マイクスポンジ取付け

マイクスポンジを装着します。

※マイクスポンジは必ず取付けてご使用ください。風切り音を軽減します。
※マイク根本の突起がある面が集音面です。



11. 貼付け位置の確認

マイク用面ファスナー、マイクを仮置きして貼付け位置を決定します。

※マイクとホックが近い場合、ホックが外れやすくなる恐れがあります。
※マイク用面ファスナーがヘルメットのホックに重なる場合はカットします。

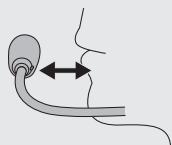


12. マイク取付け

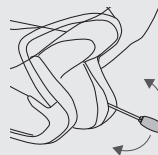
マイク用面ファスナーを貼付け後、マイクをヘルメットに取付けます。



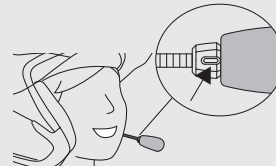
マイク取付けの 注意点



・マイクは1~2cm離れた
ところに設置



・口元に合わせる際は無理に曲げたり
引っ張ったりしないようにしてください。
落下の原因となります。



・マイクの突起を口元と
向い合わせてください。

マグネットクレードルの面ファスナー貼付け

EX1. マグネットクレードルの用意

マグネットクレードル本体、面ファスナーのフックを用意します。



EX2. 面ファスナー大の貼付け

貼付部の角に合わせながら、面ファスナー大を貼付けます。

※貼付ける前に、貼付箇所をアルコールやパーツクリーナーなどで
脱脂します。



EX3. 面ファスナー小の貼付け

貼付部の角に合わせながら、面ファスナー小を貼付けます。



EX4. 完成

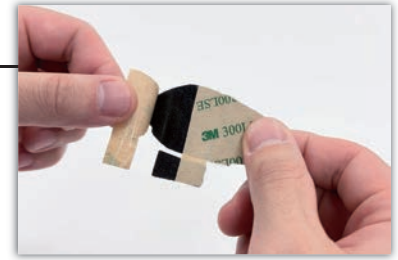
貼付部の角に合わせながら、保護ラバーの大きをそれぞれ貼付けます。



マグネットクレードルの貼付け

13. 面ファスナーループの貼付け 1

面ファスナーのループは剥離紙が縦半分に別れます。半分剥がしてヘルメットにつけると、大・小を正確に貼ることができます。



14. 面ファスナーループの貼付け 2

右の画像を参考に面ファスナーのループ大・小を貼付けます。

※貼付ける前に、貼付箇所をアルコールやパーツクリーナーなどで脱脂します。

※貼付け後、約 24 時間保管しご使用ください。



15. マグネットクレードルの取付け

マグネットクレードルを貼付けます。

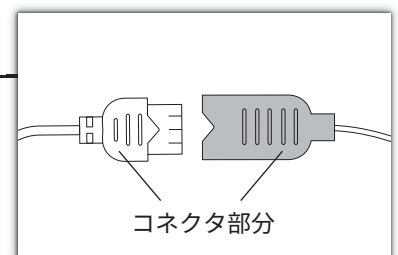


配線方法

16. スピーカー、マイクコネクタの接続

コネクタの端子の凹凸の向きに注意して、それぞれのスピーカー、マイクコネクタを接続します。

※コネクタを接続する際はケーブルを引っ張らず、コネクタ部分を持って抜き差しを行ってください。



17. イヤーカップ取付け

配線を整え、イヤーカップを元に戻します。



本体の取付け

18. 本体ユニットの取付け

本体を取付けて完成です。

※取付け後は本体とクレードルの間に隙間やがたつきがないことを確認して下さい。

